

ニュージャージー補習授業校

えがお

平成十九年九月八日発行



幼児部の友だちの作品

ホームページ

www.hoshuko.org

小さなてのひら

はらっぱのすみに
土まんじゅう

いがらしれいこ

「くわがたのおはか」

小さな板きれにかいてある

なんどもなんども

なぞった字で

それから土に

いくつも いくつも

小さなていねいな てのひらのあと

出展 「教室で読みたい詩 十二月」 民衆社



幼児部の友だちの作品

日本では「防災の日」という記念日が制定されています。

大正十二年九月一日午前十一時五十八分に起こった関東大震災。大地震による死者・行方不明者は十万人とも

十五万人とも。その教訓を忘れないようにと日本国内の学校や様々な団体で防災訓練が行われています。もちろん、災害は地震だけに限りません。万が一の時に何をするか、何ができるかによって、被害がかわってしまいます。

前回授業日の様子から

「緊急放送」。五時間目に入って間もなく、校舎内のスピーカーから不審者の侵入を告げるロックダウン訓練開始の放送が流れました。補習校のほとんどの友だちは、担任の先生の指示を聞いて、素早く行動することができていました。事前に担任の先生から説明があったように、緊急の場合の行動はおおまかには「火災の場合は外へ」「不審者の侵入は教室内で」の2つに分かれます。ただし、状況に合わせて行動することが大事なため、放送や先生の指示を良く聞き、速やかに避難行動を実行できることが必要です。そのためにも、毎回の訓練はとても大切なのです。



みんなの作文



今週は、初等部五年生の作品です。

夏一番好きな外あそび

ぼくはいろいろな虫が好きです。いつも、せみをさがしたり、せみのぬげがらをさがしたりします。いつかい日本にっぽんでゆびを高くあげていたら、シオカラトンボが止とまってくれました。ずっと動うごかないようにしていました。さいごにはにがしてあげました。

夏休みの一番の思い出

私の一番の思い出は、乗馬クラブへ行ったことです。最初は体験コースで馬とふれあいました。馬に乗って歩いてみたり、小走りをしたりしました。そして、馬と心を通つじることができました。馬もとてもいい子でした。めいれいをきちんとして聞いてくれます。私は馬がとっても好きになりました。また乗馬したいです。

作文豆知識「原稿用紙①」



「作文を書くのは好きだけど、原稿用紙に書くのはきまりがよくわからないから、いや。」と言っている友だちがいました。なるほど、気持ちはわかります。でも、書き方のきまりは慣なれてしまえば簡単かんたんですし、自分以外の読む人にわかりやすく伝えることができます。

「マスあけのやくそく」(作文の種類によって違うこともあります。)

一行目は二マスあけて題名を書く。

二行目の名前は下づめ。苗字と名前の間、名前の下

を二マスあける。() とは一枚目の用紙だけ)

三行目の本文の書き出しや、段落の変わり目は

一番上のマスをあけて、二マス目から書く。

今年も力作ぞろい!

「読書感想文コンクール」「シティバンク絵画コンクール」に今年もたくさんの方の応募がありました。絵画コンクールの入選・佳作の発表は、今月末にはお知らせします。楽しみにしてくださいね。